

参加費 **無料**

横浜市薬剤師会災害医療支援薬剤師講習会
大塚災害薬事サポーター養成プログラム

薬剤師のための災害医療 スキルアップセミナー② in 横浜

地域包括ケアに役立つ 災害時に薬剤師だから出来ること

2024年 19:20~21:30

|形式| 現地集合型

8.29 [木]

|会場| 横浜市南公会堂

横浜市南区浦舟町2丁目33番地 南区総合庁舎内
TEL:045-341-1261

第2回テーマ 『災害薬事対応の実際』

開会の挨拶 原田 浩一郎 様 横浜市医療局長 19:20~19:25

座長 菅野 浩 先生 済生会横浜市東部病院 薬剤部 部長
萩田 義明 先生 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部
災害医療薬剤師学会理事 / DMATインストラクター

講演Ⅰ 『災害時における医薬品供給/発災後の特例措置』 19:25~20:00

演者 渡邊 暁洋 先生 兵庫医科大学 危機管理医学講座 薬剤師
日本災害医療薬剤師学会 会長

講演Ⅱ 『災害薬事トリアージ』 20:00~20:20

アドバイザー 増田 励 先生 碧水脳神経クリニック
横浜市医師会 災害対策部員 / 南区医師会 常任理事(災害担当)

講演Ⅲ 『地域の医薬品体制を考えよう』 20:20~21:25

演者① 鈴木 健 様 横浜市医療局 地域医療部 救急・災害医療課長

『横浜市の災害医療体制』

演者② 山田 真幸 先生 横浜市薬剤師会理事
災害対策委員

『横浜市における災害時医薬品供給体制』

演者③ 竹内 一郎 先生 横浜市立大学 救急医学教室 主任教授

『災害時地域の薬剤師に求められること』

—2024年1月発災:能登地震の県庁災害対策本部の視点から—

閉会の挨拶 坂本 悟 先生 横浜市薬剤師会 会長 21:25~21:30

<https://business.form-mailer.jp/fms/5422ca6a189800>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

- 公益財団法人日本薬剤師研修センター研修単位 1単位 ●日病薬病院薬学認定薬剤師制度(領域III-2) 0.5単位
- 上記アドレスまたは右記QRコードよりアクセスし、必要事項をご登録ください。
- 横浜市薬剤師会会員の方以外も参加可能です。
- 日本薬剤師研修センター認定単位が必要な方は、2次元バーコードを紙面でご持参いただくことを推奨いたします。
- ※当日は、ご参加の確認のため、ご施設名、ご芳名の記憶をお願い申し上げます。なお、ご記憶頂きました個人情報、本講演会の出席者の確認及び次回のご案内のために共催関係者のみで使用し、その他第三者に提供する事はありません。また適切に管理し、使用目的達成後に速やかに廃棄いたします。
- お問い合わせ / mail: Mikuniya.Takumi@otsuka.jp / Tel: 045-314-5061 ●管理者 / 大塚製薬(株) 三國屋拓実



●本セミナーは全3回シリーズで1つのプログラムとなっております。3回すべてご参加頂いた先生には修了証の発行を予定しております。

共催: 横浜市薬剤師会、大塚製薬株式会社
後援: 横浜市、日本災害医療薬剤師学会、厚生労働省(申請中)

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN